

「学力向上ポートフォリオ(学校版)」

～ 「真の学力」 育成の継続的な取組を目指して ～

＜本年度の学力向上基本方針＞

- わかるできる喜びを感じられる授業
- 「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った授業改善の継続

＜本年度の学力向上策＞

- 1 児童の意欲を高め、学力の定着を図る授業づくり
 - (1) 児童の発言や考えをもとにして、学習計画や学習課題を設定したり、学習のまとめ等を行ったりする。
 - (2) 結果だけでなく、思考の過程も重視した学習活動やノート指導を行う。
 - ・ 結果を急がず、時間をかけじっくりと課題に取り組むことの大切さを意識させるような指導を行っていく。
 - ・ 児童に自分の「学びの足あと」の大切さを意識させるような指導を行っていく。
 - (3) 児童の実態や教科の特性に応じた学習形態（T T、習熟度別少人数指導等）の工夫を行う。
 - (4) I C T機器等を活用した学習活動を積極的に展開する。
 - ・ 児童の実態や思考の過程に沿った効果的な活用を図っていく。
 - (5) 学年協働の教材研究と教材作成等を通して、系統性のある指導法の研究を行う。
 - (6) 「植竹スタンダード」をもとにした、授業のユニバーサルデザイン化を図る。
 - (7) 「よい授業」アンケートの集計結果の分析と活用を行う。
- 2 全国学力・学習状況調査とさいたま市学習状況調査の結果の分析と活用
 - (1) 学習状況調査結果からみられる自校の各教科の成果と課題を把握する。
 - (2) 家庭学習の手引きの活用をする。

＜本年度の振り返り＞

- 「植竹小スタンダード」を基にした授業を継続して行ったことにより、「よい授業」アンケートの因子②③④において1回目の結果を上回った。
- ▲ 「よい授業」アンケートの因子①において昨年度の数値を上回ったものの、1回目の結果からの伸びがみられなかった。今後も、継続して教員の授業マネジメントの向上を図り、児童のさらなる基礎学力定着を目指していきたい。
- 思考の過程も重視した学習活動を継続的に展開したことにより、各学年とも昨年度より無解答率が低くなった。
- 全国学力・学習状況調査、さいたま市学習状況調査の結果は、全学年・各教科で良好であり、児童の基礎学力の定着が図られている。